ウオッチ

市民カメラマンフォトルポ

今号は、市民カメラマンの横山正弘さんの写真を紹介します。市ウェブサイトでは、たくさんの写真を公開しています。ぜひ、ご覧ください。



7/30 夏休み子ども講座「元気いっぱい 卓球でたのしもう」

蘇原コミュニティセンターで行われた講座に、小学生19人が参加しました。初めにラケットの持ち方を教わり、次に自分のラケットの上で球をつくことや、2人1組で床を使って打つことに挑戦しました。

それから卓球台を使って、指導者が出す球をフォアハンドやバックハンドで返したり、スマッシュを打ったりしました。どの子も楽しく活動し、あっという間の1時間でした。

8/24 小売業の魅力を体験！「商業体験事業」を実施

市では、小売業の魅力を伝え、将来の就職分野の選択肢としてもらうため、新たに「商業体験事業」を実施。アピタ各務原店で、バックヤード見学や商品ポップ作成を行いました。

鵜沼第一小学校3年の松村知佳さんは、「たくさんの人に、ポップを見て商品を買ってもらえるよう、商品名を大きく書きました」と、体験を楽しんでいました。





9/6 救急の日にちなみ、「救急フェア」を開催

9月9日の「救急の日」にちなみ、イオンモール各務原インターで、救急フェアを開催。来場者は、市消防本部の救急隊員らが設けたブースで、心肺蘇生法やAEDの体験、子ども用消防服を着ての撮影などを行いました。

市外から訪れたご家族は、「親子で体験できて、いい経験になりました」と、救急業務などの理解を深めていました。

9/16 歴史民俗資料館企画展「旗本坪内氏～乱世を駆け抜けた鉄砲隊～」を開催

9月5日～10月4日に、中央図書館3階展示室で、企画展「旗本坪内氏」を開催。坪内氏ゆかりの火縄銃や軍中日記などを展示し、市域に領地を持った坪内氏の活躍を紹介しました。

市外から訪れた松波浩徳さんは、「自分が調べても分からなかった、地域の歴史などを知ることができました」と、満足そうに展示資料に見入っていました。



各務原しごとびと

各務原で働く「しごとびと」を紹介します。
移住定住ウェブサイト（OFK）では、より詳しい内容がご覧になれます。

Q どんな仕事をしているの？

6年生の担任と、家庭科の教科担任をしています。授業だけでなく、子どもたちが楽しく学校で過ごせるように、学校生活のサポートもしています。

Q 大切にしていることは？

クラスのみんなと、積極的に話したり、関わったりすることです。クラスのみんなに私から声をかけ、良いところを伝えるようにしています。また、困っていることなどを気軽に話してもらえるよう、信頼関係を大切にしています。

Q 仕事のやりがいは？

子どもたちの成長に立ち会えることです。勉強や生活の中で苦手だったことが、できるようになった姿を見ると、うれしくなります。





小学校教諭

鵜沼第三小学校
高橋 萌 さん

今月のキラリ！さん　市内の輝くみなさんを紹介します



「DOUBLE DUTCH CONTEST WORLD INVITATIONAL 2026」で優勝

中山（なかやま） 響（ひびき）さん ― 那加中学校の1年生。鯉や金魚、亀などの世話も好きで、将来の夢は、水族館の飼育員。

いろんな国で、いろんな人とダブルダッチを楽しみたい

今年7月、ダブルダッチの世界大会「DOUBLE DUTCH CONTEST WORLD INVITATIONAL 2026」が香港で開催されました。同大会のジュニアパフォーマンス部門で、中山響さんが所属するチーム「月読命（つくよみ）」が優勝。「大会に向けて練習を増やしていたので、世界一になれてうれしい」と笑顔を見せました。

中山さんがダブルダッチを始めたのは、小学3年のとき。SNSで競技を知ったお母さんに勧められたことがきっかけです。体験した際の楽しさから、すぐにスクールに通うことにしました。

当初は基礎練習に励み、一昨年チームを結成。そして昨年、先に活動していた「月読命」に統合され、市内外の小中学生7人の体制となりました。

新チームでは、今年3月の全国大会を目標に練習に励み、担当するアクロバットの個人練習も取り組みました。「みんなでアイデアを出し合い、練習して、パフォーマンスを作りあげる時間が楽しかったです」と振り返ります。

全国大会で優勝し、世界大会への出場が決定。チームメートらとパフォーマンスを再考し、練習を重ねて世界大会に臨みました。「優勝できたポイントは、チームワークだと思います」と、チームの強味を語ります。

「次の目標は、世界大会二連覇です。いろんな国で、いろんな人と一緒に楽しくダブルダッチをしたい」と話す中山さん。チームメートと切磋琢磨し、さらなるレベルアップを目指します。